

有田史談会

月例通信

史談会ホームページ



後半の活動がスタート！

今年も前半の活動が終わり後半の活動が始まりました。あっという間の半年でしたが、会員の皆様は日々充実した毎日をお送りのことと思います。

本年も1月と7月に会報を発行しておりますが、年間で言えば4月から翌年3月までが活動期間なので、本年度は来年1月に2回目の会報発行の月がやってきます。(笑) 会員の中には「またかっ！」と頭を抱えている方もあるかと思いますが、会報発行に備えて後半の活動を楽しんで頂きたいと願っています。

本年度も「有田人物伝講義」を開催！

さて、本年度も尾崎顧問の「有田人物伝講義」を期待しながら待ちわびておりましたが、先日顧問より「万国博覧会と有田焼」のテーマでの嬉しい知らせを頂きました。開催日が決まり次第お知らせ致します。楽しみにお待ち下さい。



編集長の独り言！

毎月の史談会通信は楽しい時間ですが、作業に取り掛かるのはいつも月の初めで、試行錯誤の日を過ごすことが多くなりました。

ごく限られた情報しか掲載はしていないので大体1~2日で終了しそうな内容だと思いながら作業を始めてみると、半分も作業が進まないうちにストップしてしまう有様の昨今なのです。まあ今月も何とかなるとのんびり構えて編集作業を開始したのですが、例外なく今月も中断してしまい、ご覧のように「編集長の独り言！」を登場させてしまいました(笑)

A4サイズの史談会通信ですが、紙面を埋める作業には文字ばかりだと読みたくなくなると思い、適当なイラストのカットを差し込みます。他愛もない作業に思えることも、編集長の腕の見せ所と腕まくり？をしながらイラスト探しが始まります。今は検索をすれば色々なイラストが見つかるので助かっています。という訳で、今月も紙面が埋まり作業を終了です 😅😅😅



10月5日、大橋先生の記念講演「肥前磁器始まりの全貌」があり、講堂には多くの方々が訪れ、私も楽しく拝聴しました。今から約400年前、それまでの日本に存在しなかった技術によって突如として白く硬質なやきものである磁器が開発され、産業として急速に発展しました。近年の研究で、その最初期には朝鮮の技術者がリーダーとなって多久や伊万里で磁器の開発が試みられ、ついに有田の地で爆発的に生産が発達したことが明らかになってきています。今回の企画展では、肥前の磁器生産の草創期に焦点をあて、現代を生きる私たちをも魅了する初期伊万里の優品と、草創期の技術開発の様子をうかがい知ることができる資料を通じて、これまでの研究成果をもとにその起源と発展の真相に迫る内容になっています。

11月の活動は企画展の鑑賞！

史談会は11/15「やきものセミナー」に合流し巖学芸員の講義の後、企画展の鑑賞を行う予定です。入場料¥800は事務局にて支払いますので会員は不要です。

九州陶磁文化館やきものセミナー(第6回)

テーマ:初期伊万里ビッグバンのみどころ—多彩な装飾と文様の魅力—

日時:令和7年11月15日(土曜日)13時30分~

講師:巖由季子(学芸員)

場所:九州陶磁文化館 研修室1・展示室等

